

## 元気グループ紹介シリーズ(2) 子ども食堂

子ども食堂は、地域の子どもたちに無料または低価格で温かい食事を提供する場所です。食事を通じて子どもたちの孤食を防ぎ、地域とのつながりを育むことを目的としています。日本全国で広がりを見せており、2025年12月時点で約12,000か所の子ども食堂が活動しています。貧困家庭の支援だけでなく、地域全体の交流拠点として機能している点が特徴です。

緑区で現在稼働中の子ども食堂は17か所あり、それぞれが個性的でとても元気な活動をしています。今回は編集部メンバーが徳重支所管内の5か所を取材訪問させていただきました。

### 滝ノ水 (ふれあい食堂わ・わ・わ)

毎月最終土曜日 12:00~13:30

9月27日(土)、管理者の加藤さんにお話を伺いました。高齢者の事業所を運営していましたが、子どもに関わることも役立ちたいと思い、2019年に子ども食堂「わ・わ・わ」を立ち上げました。「わ・わ・わ」の名前は、和むのわ、笑いのわ、輪になろうのわから名付けました。地域の人々の心のよりどころになれるといいなと思っています。

毎回15人分の食事を作ります。スタッフと調理系のボランティア3人で10時から準備します。

取材当日は、大学生ボランティア2名が参加していて、ホール係を担当していました。とても和やかな雰囲気笑顔がいっぱいでした。取材当日の利用者は子ども7名、大人4名。

メニューは、ごはん、根菜と豚肉の甘辛炒め、サラダ、オリジナル茶碗蒸し、果物ゼリーでした。茶碗蒸しは、近くの日本料理店から毎回寄付があるそうです。試食させていただきましたが、野菜中心の料理で食材の種類が豊富で薄味、盛り付けもきれいで、とてもおいしくいただきました。食材は、社会福祉協議会を通しての寄付や近隣の方からの寄付もあるとのことでした。近隣とのネットワークがうまく機能していると思いました。スタッフ、ボランティア、利用者みなさんそれぞれ楽しそうで、食事が一層おいしくいただけると思いました。



食堂のほかにも、月1回無料で開催されている科学実験教室が大変人気の活動です。科学実験教室の加藤先生は消防団のつながりがご縁で、無償で毎月の楽しい実験をお世話されています。9月21日(金)に見学させていただいたスライムづくりの日は、大学生ボランティアの応援もありとても和やかで笑いの絶えない教室でした。

### 戸笠 (清美食堂)

毎週月曜日 17:00~20:00

9月22日(月)、担当者の小川さんにお話を伺いました。普段は子育て支援の拠点として活動している場を利用し、子どもが保育園に通うようになってもつながりを大切にしたい、働きながらの子育ては夕飯作りも大変だからと夕食と一緒に楽しむ清美食堂を2023年にオープンしました。ゆったりとママとお子さん、またはパパとも一緒に過ごすことができます。毎回、2~10家族くらいの参加者で賑います。

編集部メンバーが訪問したときは、早くから来ていた大きい組の保育園児たちは遊具で夢中になって走り回ったりして遊んでいて、親たちは子どもたちの様子を見ながらまったりおしゃべりに花を咲かせているタイミングでした。お話を伺いましたら、3~4年くらいは子育て支援拠点でお世話になり、卒業した今は保育園に通っているが、夕ご飯の食堂開催時には子どもを連れて楽しめるとのこと。

取材当日のメニューは岐阜のブランド米ハツシモのごはん、具だくさんの豚汁、春雨サラダというものでした。持参の唐揚げやヨーグルトなども一緒に食べて満足気なお兄ちゃんや、バウンサーで機嫌よく揺られながら離乳食を平らげる赤ちゃんなどそれぞれが思い思いの楽しい時間が過ごせる仕掛けです。

社会福祉協議会からの食糧分配やお米の寄付をいただき何とか運営できているとのこと。スタッフは小川さんと息子さん2人と少人数ですが穏やかにニコニコと優しく配膳される姿に、この活動がお二人にとっても癒され元気を充電できる時間なのだと思います。皆さんの笑顔が輝いていました。

